

ビジネスAR部会 テクニカルセッション

NECソフト株式会社

森下 幸司

- 所属
 - NECソフト株式会社
VALWAYテクノロジーセンター
ユーザビリティグループ
- 業務
 - ユーザビリティ向上のための新技術の開発、
Web、スマートフォンアプリのコンサルティング

- 2012年4月5日にGoogleから突如右の写真とともに発表されました。
- 透過型のディスプレイを備えた小型の眼鏡型ウェアラブル端末と考えられます。
- 本セッションでは、今回公開された何枚かの写真と、デモムービーをひもときどのような技術が使われているか考えて行きたいと思います。

Source:[Project Glass] <https://plus.google.com/111626127367496192147/posts>

- 単眼型
- オプティカル シースルー型
- ※オプティカル シースルーとは？
- 眼鏡型ディスプレイでのHMDを使用しての外部の確認方法は大きく2種類に分けられます。1つはオプティカル シースルー型、もう1つはビデオ シースルー型。

- シナリオ
 - 今日の予定、天気を表示
 - 天気予報を選択

- 技術要素
 - 視線による選択、もしくは頭の動きか？
 - 首の移動によるメニュー移動（ジャイロ、加速度センサー）

- シナリオ
 - メッセージを受信
 - メッセージの確認
 - メッセージの返信
- 技術要素
 - 音声による、指示と、文字入力を実行

- シナリオ
 - 地下鉄の運行状況をその場で表示
 - 代替手段を表示

- 技術要素
 - GPSによる位置情報
 - クラウドでの交通情報サービス
 - マップサービス
 - (他の例) タクシーで移動の場合はこの時点でタクシーをこの場所に呼ぶサービス

- シナリオ
 - 徒歩でのルートをナビゲーション
- 技術要素
 - GPS
 - 加速度センサー、ジャイロ、コンパスによる方向の測定

- シナリオ
 - 屋内でのナビゲーション
- 技術要素
 - Wi-Fi、携帯基地局、GPS、ジャイロなどによる補正
 - 米Googleが4月8日に屋内ナビ用のアプリをリリース(米国内限定)
 - IMES (Indoor MESSaging System)
 - 既存のGPSと同様の信号を送出するシステム
 - 2011年6月23日 業界団体「IMESコンソーシアム」設立

- シナリオ
 - 位置情報を元にしたコミュニケーション
- 技術要素
 - 友人同士で、現在位置情報の共有
 - 気に入ったお店にピンを刺す

- シナリオ
 - 気に入った風景があれば、音声でシームレスに記録、共有
- 技術要素
 - 音声入力
 - 外部カメラ

- シナリオ
 - 相手と本当の意味でのハンズフリーでTV電話
- 技術要素
 - 音声と音声コマンド
 - 外部カメラ
 - ハーフミラーへの投影

- ARメガネ = スマホ + HMD
 - 五感拡張に向けて目の近くにモニタを置くため
 - そのモニタを手で支えたくない
 - 空いた手で他のことをしよう。
(握手したり、手をつないで歩いたり、肩を組んだり、手を振ったり)
- AR懐中電灯 = スマホ + 小型プロジェクタ
 - 総連携によるARの実現しよう
 - タブレットもあるけど持ち運びに不便だし、画面サイズが決まっているのも不便
 - 壁に情報を映しだそう、壁にある情報に重ね合わせてみよう
 - 道に情報を映しだそう、道案内が表示されるようになるだろう
(AR手すりのように)
 - 懐中電灯でインタラクション
(施錠されているドアに光を当てると開けゴマ)
 - 変形する動き回る懐中電灯